

実質化された人・農地プラン（更新）

市町村名	那珂市	作成年月日	令和3年3月22日	直近の更新年月日	令和5年2月17日
対象地区名 (地区内集落)	神崎（本米崎、向山、横堀、堤、杉）				

1 対象地区内の現状

①地区内の耕地面積	490ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	298ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	170ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	83ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	51ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	78ha
備考	令和4年度はアンケート未実施のため、②から④の修正ありません。

2 対象地区の課題

・担い手の高齢化が深刻になっている。
・耕作放棄地や遊休地が多く増加している。
・農業者の後継者が不足している。
・市外からの耕作者の参入が見られ、市内の担い手において優良農地の確保が難しくなりつつある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

神崎地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者（18経営体）等が担い、原則として農地中間管理事業を活用し、担い手への集積・集約を図る。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

・基盤整備の実施（農道の拡幅及びパイプラインの整備等）
・補助金の導入（農業機械や兼業農家に対して）
・担い手の参入（他市町村や他産業から誘致）
・農産物のブランド化、販路開拓